

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コペルプラス上尾教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 7月 1日 ～ 令和7年 7月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 15日 ～ 令和7年 7月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 8月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度の各項目で評価が高く、お子様が楽しく安心感をもって通ってくれていることが分かりました。 保護者様にもご満足いただいている割合が高く、大変嬉しく思っています。	「嫌でも頑張る」にならないよう、教材の提示方法や声掛けの内容を工夫しています。 また、保護者様へのお声掛けも適宜行っており、日々の様子やご意見を聞くことができる機会を増えるようにしています。	よりご満足いただけるよう、職員の資質の向上に努めます。 現在は外部の研修も取り入れ、専門性の向上を図っています。
2	保護者様からのご質問やご相談に対してしっかりと向き合っており、回答ができていると評価をいただきました。 また、支援計画の内容やそれに対する支援方法についても高い評価をいただきました。	ご相談いただいた内容については職員間で共有をし、多くの視点から回答が出来るようにしています。 また、支援計画の内容についても原案の段階での周知とミーティングを徹底して行っており、職員全員が計画内容をよく理解した上で支援に携わるようにしています。	引き続き支援計画の周知とミーティングの実施を徹底して参ります。 また、ご相談を受けた際にしっかりと回答ができるよう、研修の実施等で職員の知識向上に努めます。
3	支援の提供に関する項目について高く評価していただいたものが多くありました。 特に、お子様への理解、支援内容について高い評価をいただきました。	年齢や特性で画一的に接するのではなく、「このお子様に合った支援をするにはどうすれば良いか」ということを職員間で話し合いながら支援を行っています。 また、困った時には職員の中でも専門性の高い者に助言を求めるなど、職員間での意見交換が活発になるように運営をしております。	支援内容についてのミーティング頻度をより増やせるよう、人員体制を見直して参ります。 また、お子様一人ひとりへの理解を深め、引き続きより適切な支援の提供ができるよう努めて参ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時への対応や避難訓練に関する項目で十分ではないと感じているかたが多くいらっしゃいました。	ご利用者様を含めての避難訓練は、必ずしも全員がご参加いただけるような設定になっておらず、実施していることを知らないかたが多いのではないかと考えております。 また、契約時以外で説明する機会があまり無いため、安全計画に対する周知が不十分であったと感じております。	避難訓練を行う際は広く周知ができるよう、お声がけ方法等の改善を検討して参ります。 また、実施後にSNSを活用して訓練の様子がわかるように努めます。 安全計画等に関しては、今一度周知ができるように方法等検討をして参ります。
2	地域や事業所外のお子様との関わり、保護者同士の関わりについて、十分に行えていないとお声がありました。	事業所として他のお子様と関わる機会を設けておらず、ベアトレや茶話会の開催もできていなかったため、ご意見をいただいたものと考えております。	ベアトレや茶話会については開催が出来るように検討と研修を進めております。 しかし、保護者同士や事業所外のお子様との関わりを求めているとお声も多く頂戴しておりますので、皆様のご意見を広く聞きながら今後について検討をして参ります。
3			